

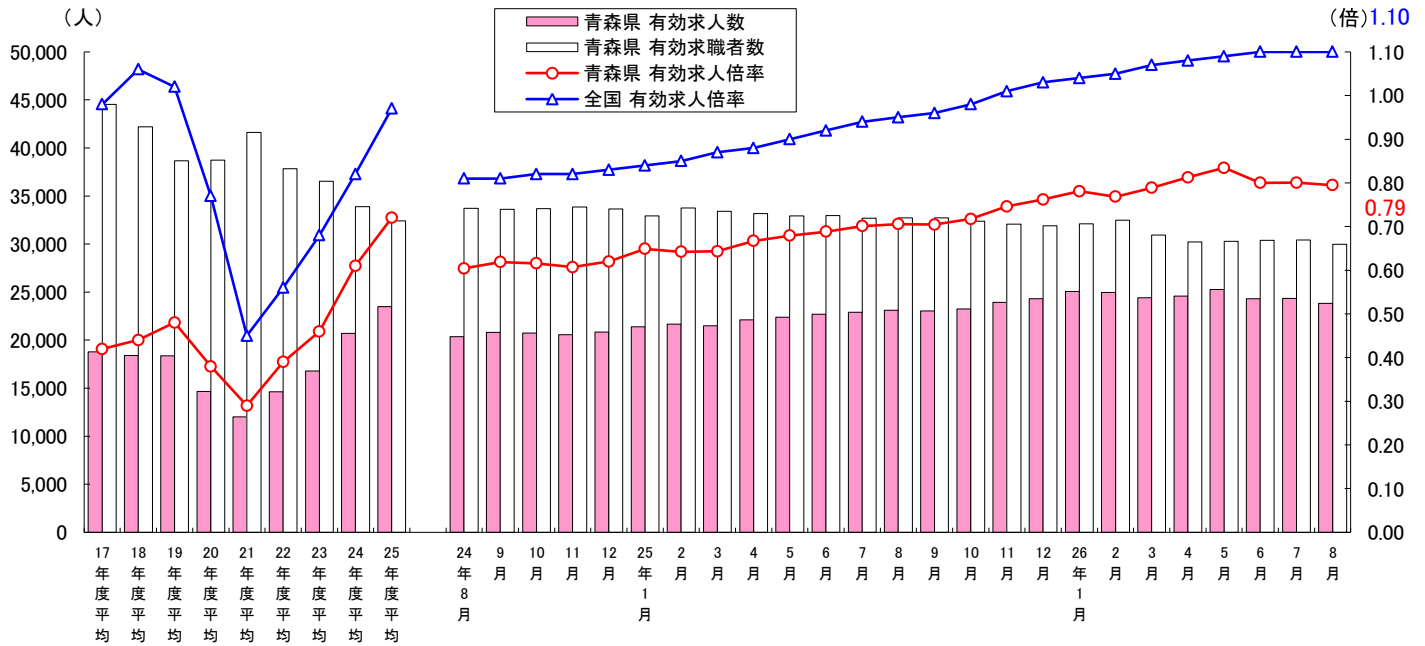
最近の雇用情勢について

(平成26年8月)

青森労働局

I 求人・求職・求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

8月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ2.2%減少の23,813人、有効求職者数(同)は1.5%減少の29,958人で、有効求人倍率(同)は前月より0.01ポイント低下の0.79倍となった。

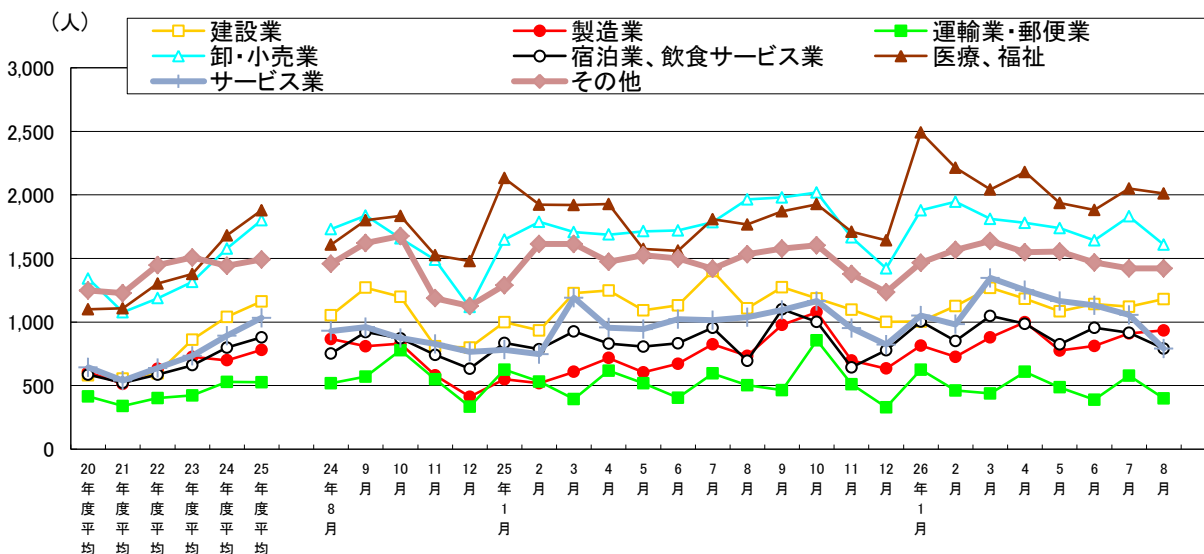


(注)季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成23年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

8月の新規求人(原数値)は前年同月比2.2(203人)減少、前月比7.5%(742人)増加の9,138人。

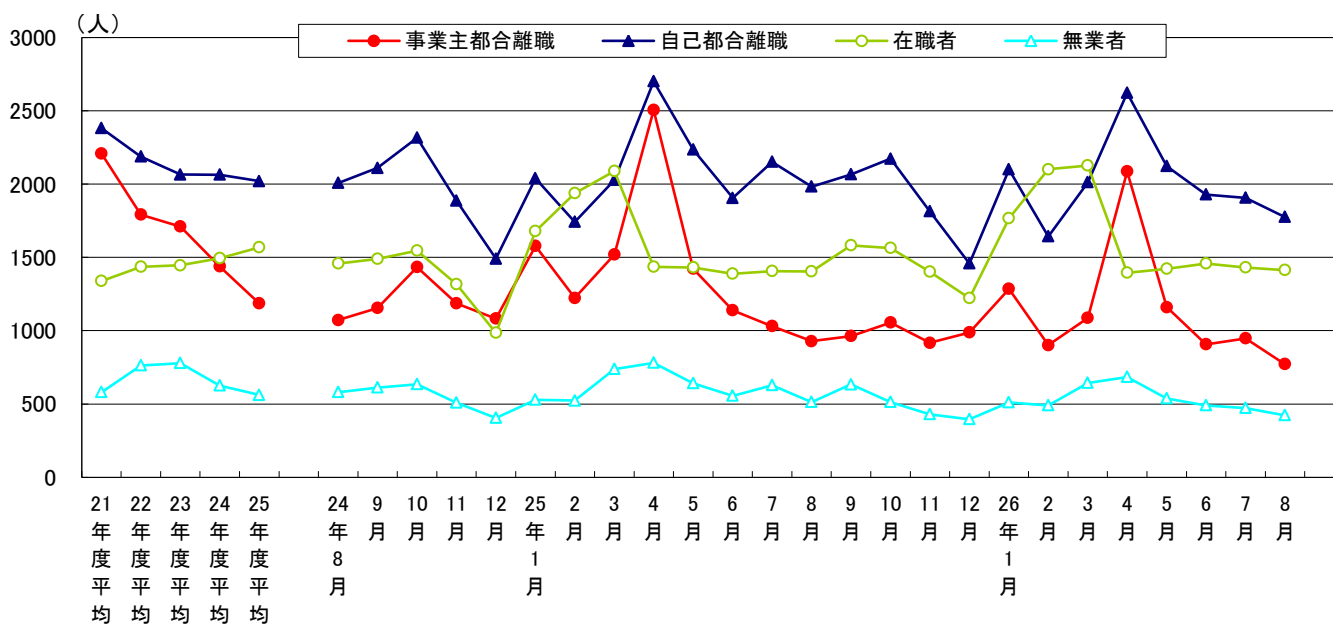
産業別に前年同月と比較すると、建設業、製造業、学術研究、専門技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉等が増加し、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、生活関連サービス業、娯楽業、サービス業等では減少となった。製造業では、食料品、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、はん用・生産用・業務用機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で増加し、印刷・同関連業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業等では減少となった。



平成26年4月内容分り、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。

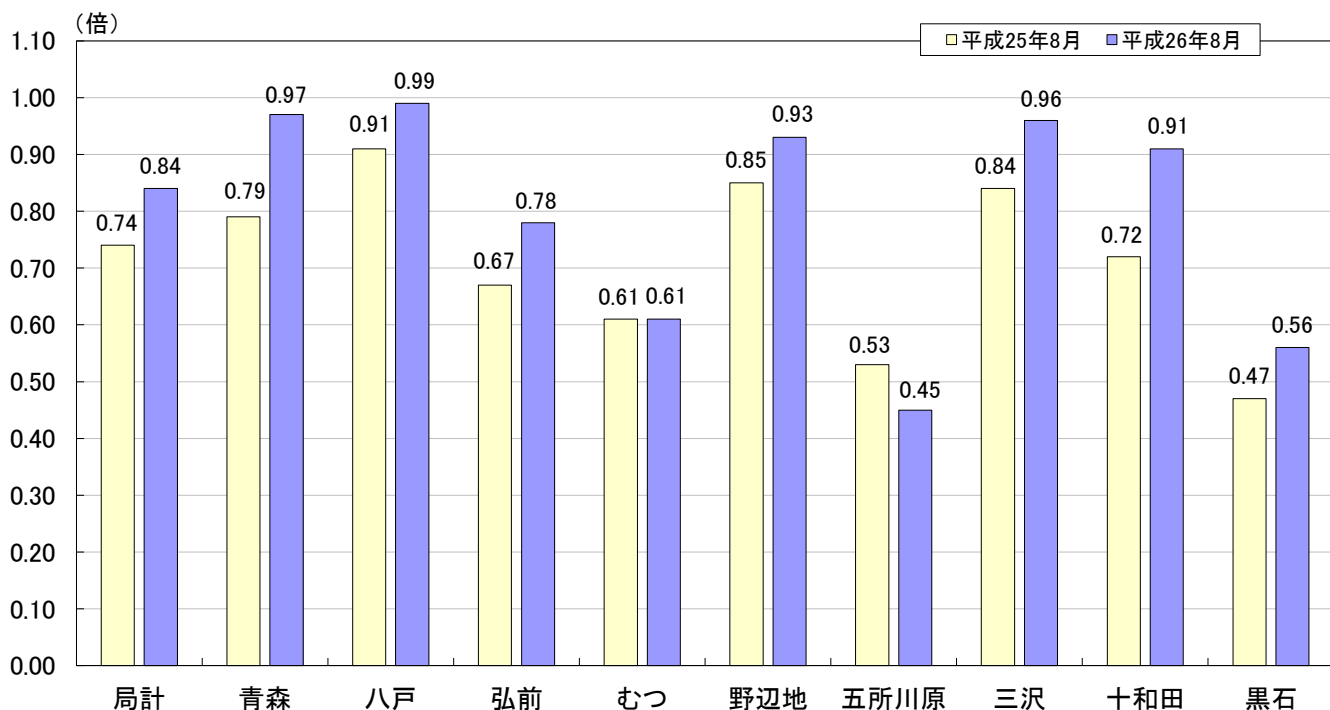
Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

8月の新規求職者数は、前年同月比9.5% (471人)減少、前月比8.2% (402人)減少の4,471人。
 求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.6% (8人)増加し、離職者は12.9% (390人)の減少、無業者も17.4% (89人)の減少となった。
 離職理由でみると、事業主都合は16.9% (157人)の減少、自己都合は10.5% (208人)の減少となった。



Ⅳ 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

8月の局計の有効求人倍率(原数値)は0.84倍となり、前年同月を0.10ポイント上回った。
 各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。

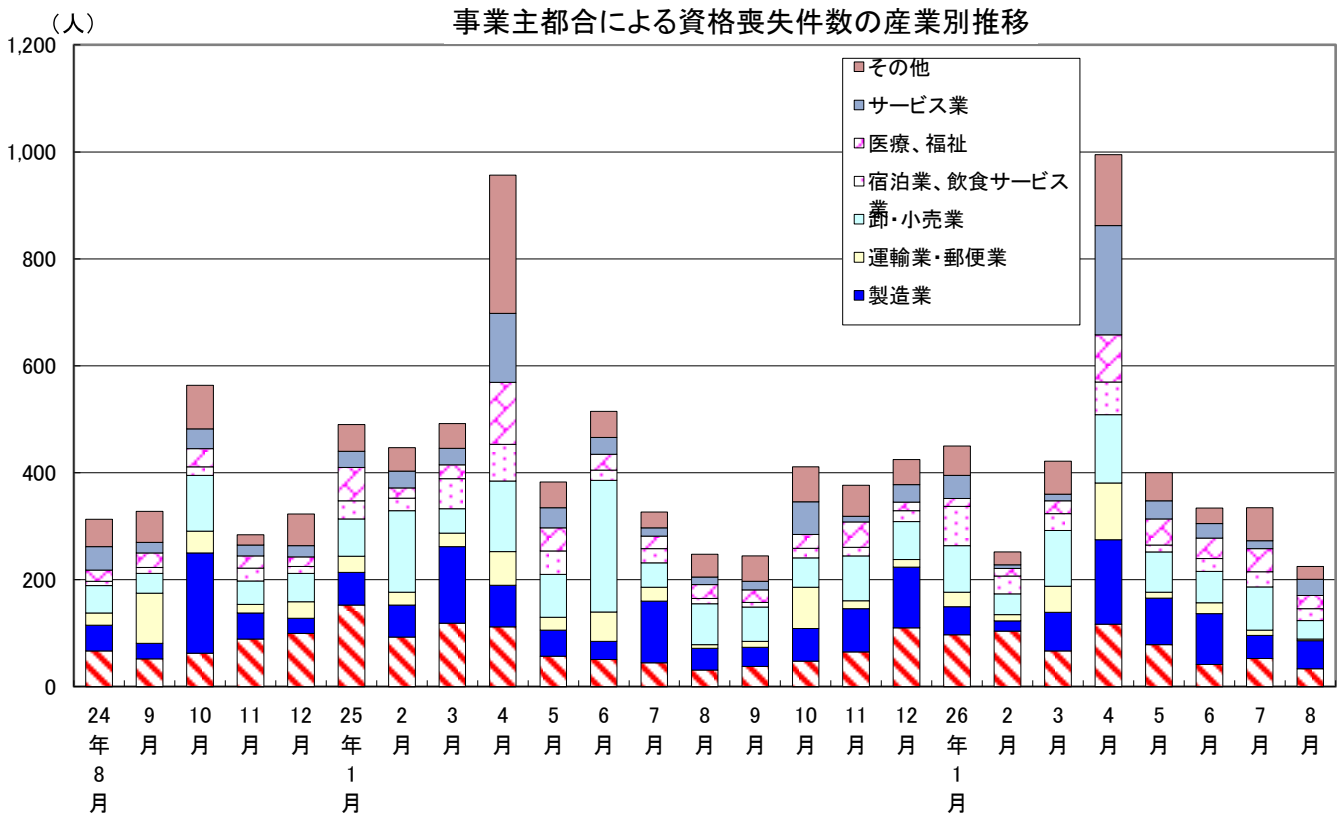
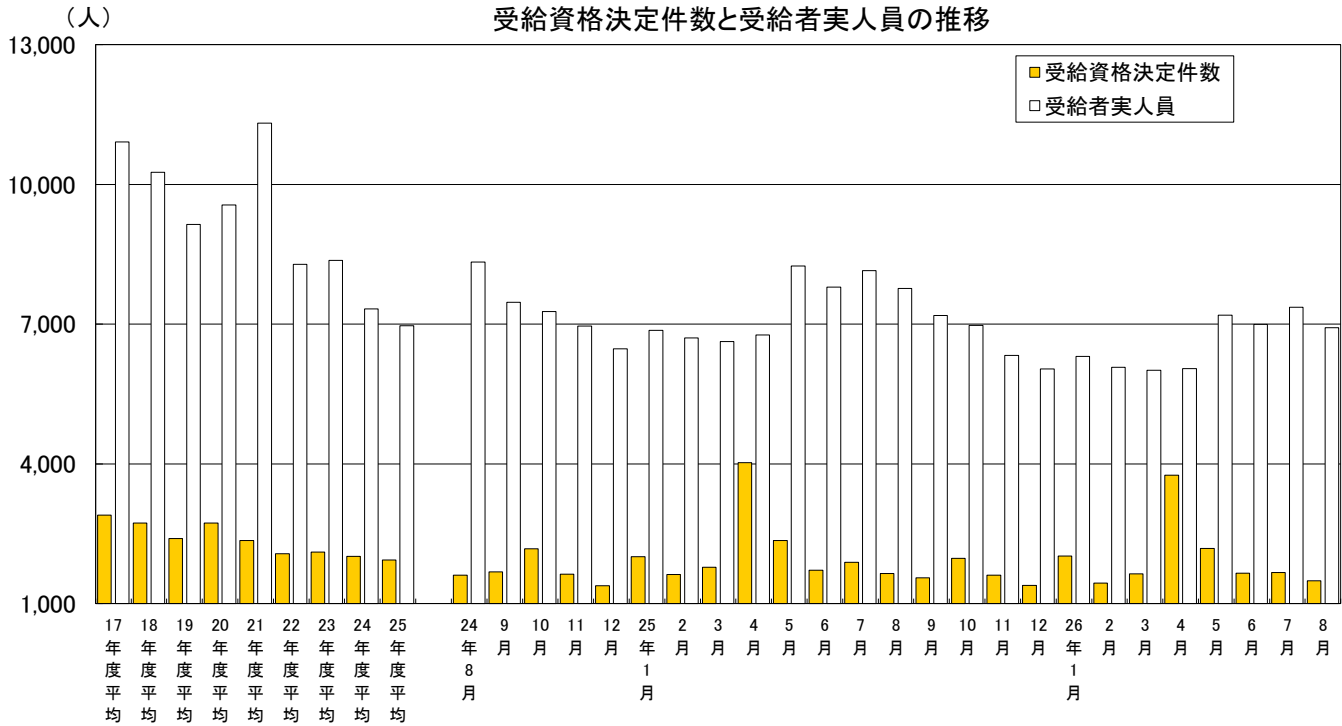


	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職	28,241	6,914	6,421	5,389	1,303	985	2,773	1,504	1,364	1,588
有効求人	23,832	6,741	6,359	4,202	797	914	1,241	1,441	1,244	893

V 雇用保険の状況

8月の受給者実人員（基本手当基本分）は、前年同月比10.8%（840人）減少、前月比では6.0%（440人）減少の6,924人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.4%（155件）減少、前月比では10.6%（177件）減少の1,489件となった。

資格喪失者（高年齢、短期特例被保険者を除く）のうち事業主都合による者は、前年同月比9.3%（23人）減少、前月比32.8%（110人）減少の225人となっている。



平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農・林・漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融・保険業」「不動産、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「複合サービス事業」「公務、その他」を含みます。